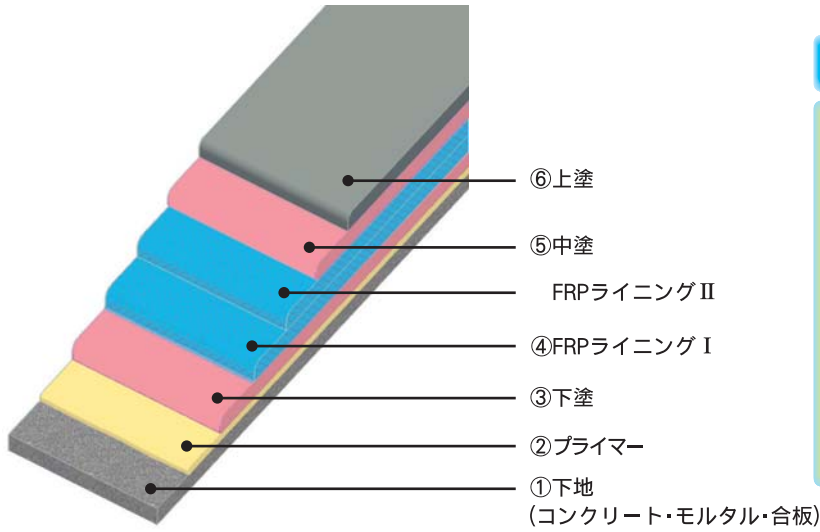


# 一般工法

用途：ベランダ・バルコニー・陸屋根

## FP-200工法 2プライ仕様 露出軽歩行用（フラット仕上／ノンスリップ仕上）平均膜厚3.0mm

ビル・マンション等の屋上・バルコニーの防水に威力を発揮します。



### 特長

- ①弾性ポリエステル樹脂をガラスマットに含浸して強靱な防水層を形成します。
- ②密着性に優れ、しかも躯体（下地）の伸縮に追従します。
- ③軽量で、耐久性に優れた防水層です。
- ④垂直面やルーフトレン・脱気筒まわりの複雑な形成部分でもシームレスな防水層を施工することができます。

標準施工工程（防水トップコートPC-855TPのフラット仕上の場合）

施工工程	使用材料	塗布量(kg/m <sup>2</sup> )	施工方法
① 下地調整	下地は十分乾燥(含水率9%以下)させます。新設コンクリートの養生期間目安は30日～45日です。コンクリート・モルタル・合板表面のホコリ・泥・砂・油等は除去・清掃します。劣化部は除去します。新設コンクリートの場合、表面レイトランスをワイヤーブラシ等で必ず除去します。外Rは、6R以上に面取りします。		
② プライマー	バイオニヤシーラー#100	0.3	ローラー・刷毛で塗布します。
不陸調整	QコートパテE		凹凸・クラック部を充填します。内Rは、10R以上にパテ埋めします。
③ 下塗	ポリキュートPC-640FXT	0.8	FRPローラーで塗布します。
④ FRPライニングⅠ	ポリキュートPC-640FXT	0.5	FRPローラーで塗布します。直ちにガラスマット#380を敷設し(重ね代50mm 確保)、FRPローラーで塗布含浸させた後、脱泡ローラーで脱泡します。
	ガラスマット#380	0.38	
	ポリキュートPC-640FXT	0.4	
FRPライニングⅡ	同上	同上	同上
点検・補修	浮き・膨れの発生したFRPライニング層は、カッターやディスクサンダー等で切り取り、④の工程で部分補修します。		
⑤ 中塗	ポリキュートPC-640FXT	0.5	FRPローラーで塗布します。※着色可
FRP層調整	FRP層表面の凹凸・毛羽立ち等をディスクサンダー・サンドペーパー等で除去し、平滑にします。		
⑥ 上塗	防水トップコートPC-855TP	0.4	FRPローラーで塗布します。

\* 勾配は1/100以上とし、水がたまることなく速やかに排水できるようにして下さい。

\* QコートパテE・ポリキュートPC-640FXT・防水トップコートPC-855TPには硬化剤が必要ですので、可使時間にあわせて硬化剤を0.6～3.0%添加後、十分に攪拌して使用して下さい。

\* 下塗、FRPライニング・中塗用の樹脂には別品番ポリキュートP-2・ポリキュートPC-660FXも使用可能です。

\* 上塗には、防水トップコートPC-855TP-NS(ノンスリップ)タイプもあります。

\* 必要に応じ脱気筒の使用を検討下さい。



施工前



施工後